



**花いっぱい運動** 6/10~12

『平成27年度花いっぱい運動』が行われ、町農業実験センターと静内農業高校で栽培されたマリーゴールドの苗およそ7万株が、自治会や公共施設等、全143団体に配付されました。

レッド、イエロー、オレンジのマリーゴールドが、各団体によって街中の花壇や植樹帯、公園等に1本ずつ丁寧に植えられ、花いっぱいになりました。

毎年行われていることから、会話を楽しみながらも慣れた手つきで綺麗に植える姿が見られました。



**第10回新ひだか町エプロンピック** 6/7

新ひだか町女性団体連絡協議会（井上節子会長）による『第10回新ひだか町エプロンピック』が町静内体育館で開かれ、13団体150名の選手が参加し、スポーツレクリエーションを楽しみました。

昨年同様のユニークな競技や恒例の玉入れ、綱引きなどの団体競技が行われ、全13種目を4チームで競い合い、汗を流しました。

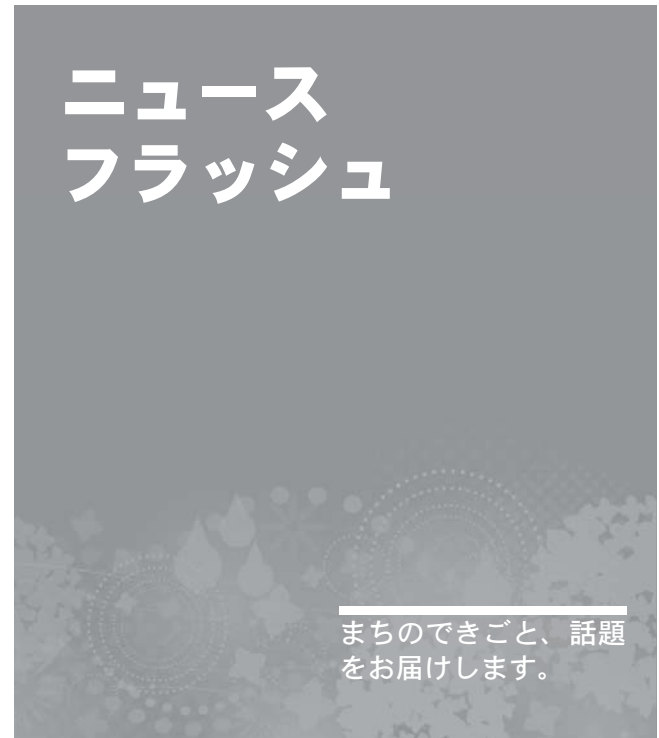
主夫という言葉もあるように、男性もエプロンを着て、競技に参加する姿も見られました。



**北海道総合通信局長表彰受賞** 6/1

北海道総合通信局（杉浦誠局長）による『平成27年度「電波の日・情報通信月間」記念式典』が京王プラザホテル札幌で開催され、当町が北海道総合通信局長表彰を受賞しました。

平成26年度より町立静内病院を中心に地域医療機関と連携し、ICT（情報通信技術）による医療情報の共有化を図る「バーチャル総合病院」を構築し、住民が安心して医療サービスを受けられるまちづくりに取り組んでいることが認められ、今回の受賞となりました。



**「みんなでまちをきれいにする清掃活動・安全大会」** 6/16

酒井建設株式会社（酒井芳宏代表取締役）による、『みんなでまちをきれいにする清掃活動・安全大会』が行われ、関連・協力会社18社を含む、約180名が参加しました。

清掃活動は、今年で10回目の開催となりますが、昨年4月に施行された「みんなでまちをきれいにする条例」に賛同し、町内の全漁港を清掃しました。

午後からは、町公民館国道入口付近で「交通安全人波運動」を行った後、館内で「安全大会」を実施し、労働、交通事故防止を誓いました。



**第27回イチャルパ** 6/7

新ひだかアイヌ協会（大川勝会長）による先祖供養の儀式『イチャルパ』が静内真歌のチセ（アイヌ民族の伝統家屋）で行われ、約120名が参加しました。この儀式は、毎年実施され、今年で27回目となります。

イチャルパと併せてアイヌ文化交流会も開催され、アイヌ料理体験試食会や「白糠アイヌ文化保存会」と「苫小牧アイヌ文化保存会」によるアイヌ古式舞踊公演も行われました。



**スポンジテニス教室** 6/5・12・19

町教育委員会による『スポンジテニス教室』が三石小学校で3回にわたり開催されました。今回、初開催となったこの教室の講師は、ソフトテニス選手として活躍していた、地域おこし協力隊の佐々木舞さんと、男性3名、女性3名の計6名が参加しました。

テニス経験者や初心者の方もアドバイスを受けながら、ラリーなどを行い、スポンジテニスを楽しみました。



**平成27年度「森は海の恋人運動」** 5/29

町緑化推進委員会（会長・酒井芳秀町長）による緑あふれる環境づくり、豊かな海づくりを目指す事業『平成27年度「森は海の恋人運動」緑化事業植樹祭』が二十間道路エントランス広場付近を会場に開かれました。

静内幼稚園の園児44名を含む、約150名が参加し、ニトリホールディングスの助成を受けて購入したクロマツ1000本、エゾヤマツツジ100本、ニトリザクラ20本を0.30haの敷地に一本一本丁寧に植えました。



**ドリカム推進事業審査委員会** 6/8

地域特産品の開発や販路開拓をまちが支援する『新ひだか町ドリカム推進事業』の審査委員会が静内庁舎で開かれ、平成26年度採用事業の実績報告と27年度申請の事業審査が行われました。



**第1回ちょっと交流ツアー** 5/26

「ちょっと暮らし体験住宅」を利用している方に町の魅力を知ってもらおうと、町の名所を巡るツアーが開かれました。5組9名の方が参加し、見学後にはパーベキューを堪能しました。



**A i b a 祭** 5/21

ホッカイドウ競馬応援イベントである『A i b a 祭』がさくらセレモニーホールで開催され、会場で飲食を楽しみながら、レース結果に一喜一憂し、賑わいを見せていました。



**春の町民安全大会** 5/20

町と町交通安全推進協議会主催の『「交通事故死ゼロを目指す日」春の町民安全大会』が、みついしふれあいプラザで開催され、250名が参加し、交通死亡事故の撲滅を誓いました。